

Overview: アウトライン I はエゼキエル書の4つの区分を鳥瞰的に見えています。II はエゼキエル書の偉大な3つの章が、第1章「火」、第37章「息」、第47章「水」であることを示します。37章における3つの結晶が、III(枯れた骨が活かされて、極めて大きな軍隊となる)、IV(二本の木が共に結合される)、V(神の家を建造する)であり、主題と直接関係があります。

I. エゼキエル書には四つの主要な区分があります:	A. 第一区分は、第1章から成り、神の栄光なるビジョンについて語り、栄光の中の聖なる神を啓示しています。	B. 第二区分は、第2章から第32章で構成され、神の裁きについて語り、神の義、聖、栄光に符合しないすべての事物を対処します。	C. 第三区分は、第33章から第39章を含み、神が彼の民の残された者[レムナント]を回復することに關してです。これは、この区分の主要な概念が主の回復であることを示しています。	D. 第四区分は、第40章から第48章で構成され、神が来て彼の愛する回復された人々を建造して、彼の住まいとならせることについて語っています。この区分は神の建造の事柄に割かれています。
II. エゼキエル書に、聖書の中で偉大な章と考えられる三つの章があります。それは第1章、第37章、第47章です:	A. このそれぞれの章はある単語で代表されます。第1章は「火」、第37章は「息」、第47章は「水」です。		B. 第37章が啓示しているのは、主が来て彼の死んで散らされた民を復興し、彼らを一にすることです。彼らは死んで枯れた骨となっていたので、生かされ共に結合される必要がありました。	
<p>III. エゼキエル書第37章が啓示しているのは、どのようにして神の霊が私たちの中へと入って来て、私たちが生かし、私たちが団体のからだとなって、軍隊へと形成され、また神の住まいとして建造されるかということです:</p> <p>A. 枯れた骨のビジョンが見せているのは、神が入って来て私たちを更新し再生する前、私たちは罪深く汚れていただけでなく、死んでいて、さまざまな罪深い、この世的で、宗教的な事物という「墓」の中に葬られていたということです。</p> <p>B. 私たちは死んで枯れた骨のように、ばらばらで散らされており、一がありませんでした:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちが救われていない罪人であれ後退した信者であれ、これが私たちの状況でした。不信の罪人が彼らの墓から解放される必要があるだけでなく、多くの兄弟姉妹でさえ復興され、死から、また彼らの墓から解放される必要があります。 2. 今日、多くのクリスチャンが、宗派、分派、分裂、独立グループ、さまざまな運動という墓の中に葬られています。 3. 以前、私たちはそのような墓の中において、死んでいて、枯れており、散らされており、ばらばらであって、だれとも結び付けられていませんでしたが、主は死人の救い主です。ここの神の言葉は、死んだ人を生きた人とならせます。 <p>C. エゼキエル書第37章のエゼキエルの預言は、予告する事柄ではなく、主を語り出し、宣言し、主のために語るという事柄です:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エゼキエルが語り出したとき、神は人々にその霊を与えました。 2. 聖書で預言することの主要な意義は、予告することではなく、主を語り出し、主を人々に供給することです: <ol style="list-style-type: none"> a. 「預言する者は召会を建造します」。 b. 「あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです」。 c. 預言すること、すなわち、神を内容として、神のために語り、神を語り出すことは、聞く人に神を供給し、彼らを神にもたらします。召会の集会は神で満ちているべきであり、そのすべての活動は神を人々に伝え、伝達して、彼らが神を注入されることであるべきです。 d. 私たちは預言するために、神の息を持つ神の人でなければなりません: <ol style="list-style-type: none"> (1) 私たちが聖書を読むことは、一種の吸い込むことであるべきであり、私たちが聖書を教えることは、一種の吐き出すことであるべきです。 (2) 私たちは主のために語っているとき、自分が神を吐き出しており、聞く人が神を吸い込んでいるという感覚を持つべきです。 e. 預言することは私たちが勝利者にします。預言することは勝利者の機能です。 3. エゼキエルが預言していたとき、神は枯れた骨に吹いて、風、息、霊を送っていました: <ol style="list-style-type: none"> a. 「ルアハ(ruach)」というヘブル語は、5節から10節と14節で「風」、「息」、「霊」と、さまざまに訳されます。 b. 霊的な経験において、神が私たちに吹くとき、彼の息は風です。私たちが風を呼吸するとき、それは息です。息が私たちの内側にあるとき、それは霊です。 c. エゼキエルが預言したとき、神は風を吹かせ、人々は息を受け、息は霊、命を与える霊と成りました。 4. エゼキエルが一度目に預言したとき、ざわめきと震動があり、すべての骨が共に集まって来ました。私たちが集会で共に集まって来て、主を呼び求めて彼を賛美することによって喜びの騒ぎ声を上げるとき、私たちは真に一です。 5. エゼキエルが二度目に預言したとき、息が、「ひどく枯れて」いる死んだ骨の中に入り、「そして彼らは生き、自分の足で立ち上がって、極めて大きな軍隊となり、神のために戦いました。 			<p>IV. 二本の命のない木は、イスラエルの分裂した国の二つの部分、すなわち南のユダの王国と北のイスラエルの王国を象徴します:</p> <ol style="list-style-type: none"> A. この二つの王国は一になることができず、主の目に完全に死んで枯れていました。 B. 彼らは生かされた後、命における成長によって、共に結合されて一になることができます。 C. これは接ぎ木とよく似ています。その中で二本の枝は結合され、最終的に共に生長します: <ol style="list-style-type: none"> 1. 共に生長することは有機的結合を意味し、この結合の中で生長が起こり、一方が他方の命と特徴にあずかります。キリストとの有機的結合の中で、キリストが経過したことは何であれ、私たちの歴史となっています。 2. 彼の死と復活は今や私たちのものです。なぜなら、私たちは彼の中におり、彼に有機的に結合されているからです。これは接ぎ木です。 3. そのような接ぎ木は、(1) 私たちのすべての消極的な要素を排出し、(2) 神が創造された私たちの機能を復活させ、(3) 私たちの機能を引き上げ、(4) 私たちの機能を充実させ、(5) 私たちの全存在に浸透して、私たちが造り変えます。 D. エゼキエル書第37章1節から14節の枯れた骨は、軍隊を形成して神のために戦うためですが、16節から22節の木は、神の住まいとしての神の家を建造するためです。 <p>V. この章の啓示が見せているのは、からだ、召会、神の家が真の一を持つ唯一の道が、命の道であるということです:</p> <ol style="list-style-type: none"> A. 息は死んだ者の中へと入ったとき、彼らにとって命となり、彼らは生きて一の中で立ち、極めて大きな軍隊となりました。 B. 1節から14節の枯れた骨と16節と17節の二本の死んだ枝が一になったのは、賜物によってではなく、教えによってもなく、命によってでした。 C. 死んだ骨と死んだ枝は生かされて一になりました。この一は、命の分与と命の成長の結果です。 	

経験①:自分が罪深いだけでなく死人であることを認め、主に命の息を吹き入れていただく
エゼキエル 37:4 彼は私に言われた、「これらの骨に預言して言いなさい。枯れた骨よ、エホバの言葉を聞け。5 主エホバはこれらの骨にこう言われる、見よ、私はあなたがたの中に息を入れ、あなたがたは生きる。10 そこで、彼が私に命じられたように預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き、自分の足で立ち上がって、極めて大きな軍隊となった。

エゼキエル書第 37 章で、神は病人にだけでなく死人にも語っておられます。私たちが死んでいること、主が私たちを生かして下さる必要があることを認識するのは祝福です。この章での神の言葉は、病人を治し、悪人を善人に変えることではありません。ここでの神の言葉は、死んだ人を生きた人にならせます。私は多くの人が主の御前にへりくだって、こう祈ることを望みます、「主よ、私は自分が病んで罪深いだけでないことを告白します。私は自分が死んでいることに同意します。私の心と霊は死んでいます。主よ、私は完全に死んで枯れています。私は死んで枯れた骨の積み重ねのようです。おお、主よ、あなたの命が私の中へと入って来る必要があります。あなたが命の息を私の中へと吹き込んで、私が生きるようにして下さる必要があります」。

主を賛美します。彼は私たちを自分の状況の中に放っておくのではなく、入って来て私たちを救い出してくださいました！

結婚生活編

エペソ 4:22 あなたがたは、以前の生活様式において、あの欺きの情欲によって腐敗している古い人を、脱ぎ捨ててしまったのです。23 そして、あなたがたの思いの霊の中で新しくされ、24 また、あの実際の義と聖の中で、神にしたがって創造された、新しい人を着たのです。2:1 ところであなたがたは、自分の違犯と罪の中に死んでいて、結婚生活において、古い人を生きると、家の中で自分が王様になり、夫婦の間の交わりなしに何でも自分で決定するようになったりします。また自分の過ちを相手に隠そうとします。このような古い人の生活様式は腐敗しているだけでなく、死んでいます。

結婚生活を以前の生活様式に従って実行しないように注意してください。夫婦は毎日一緒に生活し、とても近い関係にあるので遠慮が無くなり、古い人に対する警戒心が低下しがちです。夫婦の親密な関係を新しい人の生活様式に従って建てるべきです。そのために、i) 霊が燃やされ増強される、ii) 思いを霊に付けて、思いの霊の中で新しくされる必要があります。思いの霊の中で更新されるとき、あなたは古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着ることができるのです。それはまた死んだ人が生かされ、ばらばらで一がなかった夫婦が一つになることでもあります。

夫婦の間の問題が生じるとき、そのことを解決するようにしてください。多くの問題はあなたが古い人から従って生活している、すなわち霊的に死んでいることが原因です。しかし神はあなたに息を吹きかけ、死んでいるあなたを生き返らせることができます。あなたはまず主に来て、状況について祈るべきです。主はいつも夫婦の関係を命の中で建造しようとしていますので、信仰によって主と交わり、配偶者と交わってください。失望したり、不信仰になって、相手を邪魔者あるいは敵とみなしてはいけません。また、相手を「空気のような存在」であると言って、無視しても構わない存在であると考えてはいけません。妻は夫の助け手であり、補完です。夫婦関係は放っておいても自然に育つものではなく、愛の中で時間をかけて建て上げる必要のあるものです。あなたが建造する労苦を怠ると、あとで腐敗、例えば家庭内離婚や熟年離婚、を刈り取るようになります。

ガラテヤ 6:8 自分の肉へとまく者は、肉から腐敗を刈り取りますが、その霊へとまく者は、その霊から永遠の命を刈り取ります。

経験②:霊的な呼吸:主の御言葉を吸い込み、御言葉を語って吐き出す

テモテへの第二の手紙第 4 章 2 節は言います、「御言を宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、用意をしていなさい」。…第 4 章 2 節の「御言」は、テモテがパウロから学んだことと、旧約聖書から学んだことの両方から成っている、聖書の言葉です。地方召会を顧みることで、特に召会の衰退の時に、言葉を宣べ伝えることは不可欠です。第 3 章 14 節から 17 節で、神の語りかけは神の息吹です。私たちは神の息を持つ神の人であるべきです。私たちが聖書を読むことは、神の息を吸い込むことです。神は息吹き、私たちは吸い込みます。そうすれば、時が良くても悪くても、御言を宣べ伝えることができます。私たちの宣べ伝えは、吐き出すことです。

私たちは今日のテモテであるべきです。…時が良くても悪くても、いつでもどこでも、出て行って真理を語るように命じられている者であるべきです。これは私たちの天的な呼吸です。毎日私たちは神の息を吸い込むべきであり、毎日語ることによって吐き出すべきです。

在職青年編

神経質な人は気が小さいので、些細なことでイライラしたり、気になって疲れてしまいます。また楽観的な人は性格がいい加減なので、仕事が上手くいっていても、勝手に上手くいっているとみなします。しかし、実際には上手くいっていないので、後で問題が大きくなり大変なことになります。どちらのタイプの人も主の命によって、バランスがとられ、造り変えられる必要があります。

あなたが主を信じ受け入れた時、主はあなたの霊の中に入り、あなたの霊を再生しました。その後、主は徐々に霊から魂の各部分、思い、感情、意志に広がります。これが魂の造り変えです。人のバランスの悪さは人の有用性を損ないます。人は自分で自分を救うことはできません。しかし主の有機的な命の救いを感謝します。在職青年は、この救いがいかに素晴らしいかを評価できると思います。ある異邦人の極めて優れた学生は自分の神経質な性質のゆえに自分の優秀さを台無しにしてしまい、消耗して、うつ病になってしまいました。また、楽観的な人でも、人間関係でつまづいて弱くなってしまうことがあります。天然的に楽観的であることと、信仰があることは異なるからです。このように見ていくと、ビジネス・パーソンとして成功するためには、大学で勉強するだけでは足りないことが分かります。人は本質的に神と共に働く必要があります。なぜなら人の命は、i) 夫を必要とする妻の命であり、ii) 内容物としての神を必要とする器であり、iii) 豊かなオリブの木に接ぎ木されて、豊かな木の神聖な命と共に生きる命であるからです。

ビジネス・パーソンとしてあなたは、魂の造り変えがあなたの業務上のパフォーマンスを著しく向上させることができることを認識してください。このために日々、徐々に造り変えられる必要があります。毎日御言葉を祈り読みすることにより、新鮮な主の息を吸い込み、御言葉を集会の中で、あるいは福音の宣べ伝えにおいて、語ることにより、息を吐きだすべきです。そうすればあなたの魂の各部分は徐々に更新されます。

II コリント 4:16 こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。

3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれます。17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。

経験③:召会の集会で喜びの騒ぎ声を上げる

1コリント 14:31 なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。

詩 95:1 来たれ、私たちはエホバに向かって喜び歌い、私たちの救いの岩に向かって喜びの騒ぎ声を上げよう。

エゼキエル 37:8 私が見ていると、見よ、その上に筋があり、肉が戻って来て、皮膚がその上を覆ったが、息はその中になかった。

ときどき他の人は、私たちの集会があまりに騒がしいと不平を言います。私の答えは、もしみな枯れた骨であるなら、すべてが静かであるということです。騒音も声もなく、ただ静けさがあるだけでしょう。エゼキエル書第 37 章の谷にあるすべての骨は、静かで動きませんでした。しかしエゼキエルが来て預言したとき、ざわめきと震動があり、すべての骨が共に集まって来ました。私はこれがどうして起こったか、説明することはできません。しかしながら、私たちは、集会で共に集まって来て喜びの騒ぎ声を上げるとき、私たちは真に一であることを知ります。

ざわめき、震動、骨が共に集まって来ることの後、とても特別なことが起こりました。筋、肉、皮膚が骨の上に生じ、骨を覆って、その外観が大いに改善されるようになりました。以前それらは枯れた骨にすぎませんでした。今やそれらは集められ、結合され、連結された部分から成る、命のない体となりました。息がなかったので、体には命がありませんでした。

中高生編

あなたは中高生の時から集会の中で建造のために預言することを学んでください。預言することは、人に建造、励まし、慰めとしてのキリストを供給するために、人に語ることです。このような実行は将来の大学での発表や会社でのプレゼンテーションに大いに役に立ちます。召会の集会における預言の実行ほど、あなたの発信力、プレゼンテーションの力を強化するものではありません。あなたは預言を訓練しているので、発表することにおいて、自分がクラスの中で卓越していることに気づくでしょう。

1コリント 14:1 愛を追い求めなさい。また霊の賜物を、特にあなたがたが預言することを、熱心に願い求めなさい。3 ところが預言する者は、建造と励ましと慰めを、人に語るのです。12 そこであなたがたは、霊について熱心に求めているのですから、召会の建造のために、卓越するように求めなさい。

姉妹の証し: 姉妹の勤めている会社の部署では、25~35 歳の若手社員の大部分が京都大学、あるいは大阪大学の大学院の卒業生です。また、ある社員は世界でベストテンに入る有名な大学の大学院卒業生です(東京大学はベスト 30 にも入っていません)。このような状況で、神戸大学院卒の姉妹が主と共に約 5 年間必死で労苦してきました。その結果、若手の中では世界的に有名な大学を卒業した社員と姉妹が最も優れている 2 トップとなりました。しかしその後、約 1 年で姉妹は会社で一番若いマネージャーに昇進しましたが、もう一人の人は昇進することができませんでした。

この一年間で姉妹の方が他者よりも卓越していることが徐々に明確になりました。その違いはおもに心の純粋さやへりくだり、人に対する思いやりや優しさから来ています。主を愛すること、兄弟姉妹を愛し彼らを養うこと、福音友人を愛して彼らに福音を伝えることは、会社におけるパフォーマンスとは関係ないと考えるのは非常に表面的で浅はかな理解です。人を愛し、人のために祈り、人に神の言葉を語ることは召会を建造するだけでなく、結局あなたの将来の会社における業績を著しく向上させることが出来ます。若い時から預言を学ぶことは、あなたを卓越させるでしょう。ハレルヤ!

627 集会 — キリストを中心とする

1. 日々の生かつ、集かいも、主がちゅう心、またない容; 儀しき、教理、是非でなく、集かいはただ主のため。
2. 主はひかり、みちゆえに、照らせや、われしたかう; 主は生けるみずとかて、飲しよくし、やしなわれる。
3. 主はいのち、われながす、真理の主、われあかしす; めぐみの主、われたたえ、かしらの主、たかく上げん。
5. うたといのりをささげ、霊によりて主あらわす; 霊の奉仕とまじわりで、主をかつ用し、ひょう現す。
6. 御名でつどい、霊で行動し、塗りあぶらもていのる; 儀しきや思考によらず、霊もちいて主あらわす。

863. MEETINGS-CHRIST AS THE CENTER

1. In daily walk and in our meetings too,
Christ is the center, Christ is everything;
'Tis not for form nor doctrine good and true,
But 'tis for Christ alone we're gathering.
2. Christ is the way and Christ the light of life,
In Him we walk and by Him we are led;
Christ is the living water and the food;
Of Him we drink and we with Him are fed.
3. Christ is the truth, 'tis Him we testify,
Christ is the life, 'tis Him we minister;
Christ is the Lord, 'tis Him we magnify,
Christ is the Head, and we exalt Him here.
5. By all the hymns and prayers we offer here,
Christ the reality we would express;
All the activities in fellowship-
Christ thus in operation manifest.
6. 'Tis in His Name we meet, in Spirit act,
With nothing in our mind to formalize;
'Tis by His pow'r we pray, in unction praise,
And with Himself in spirit exercise.

627 聚会-基督作中心

1. 在日常生活 或在聚会中, 基督是中心, 基督是内容; 并非为仪式, 也非为道理, 纯是为基督, 我们相聚集。
2. 基督是道路, 基督是亮光, 凭祂而行动, 由祂来照亮; 基督是活水, 基督是灵粮, 喝祂并吃祂, 从祂得餵养。
3. 基督是真理, 我们所见证, 基督是生命, 我们所供应; 基督是恩主, 我们所称誉, 基督是元首, 我们所高举。
5. 所献上的一切 诗歌和祷告, 都要叫基督 藉灵得发表; 所有灵中的 交通和事奉, 都该是基督 彰显的运行。
6. 奉祂名聚集, 随祂灵活动, 借着祂恩膏 祷告并赞颂; 不是动头脑, 仪式得成全, 乃是运用灵, 使祂得彰显。

引用聖句:

I. エゼキエル書には四つの主要な区分があります:

II. エゼキエル書に、聖書の中で偉大な章と考えられる三つの章があります。それは第1章、第37章、第47章です:

エゼ 1:4 …北からの暴風、大きな雲、絶えず煌めく火が来た。…その中から、火の中からこはく金のようなものが出て来た。

37:9 …風に預言せよ。…息よ、四方から来て、この殺された者たちの上に息吹き、彼らが生きるようにせよ。

47:1 …水が家の敷居の下から東へ流れ出ていた…

III. エゼキエル書第37章が啓示しているのは、どのようにして神の霊が私たちの中へと入って来て、私たちが生かし、私たちが団体のからだとなって、軍隊へと形成され、また神の住まいとして建造されるかということです:

エゼ 36:25 私は、清い水をあなたがたの上に振りかけるので、あなたがたは清くなる。私はあなたがたのすべての汚れから、すべての偶像からあなたがたを清める。

エゼ 37:12-13 それゆえ、預言して彼らに言いなさい。主エホバはこう言われる、私の民よ、見よ、私はあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げて、あなたがたをイスラエルの地に連れて行く。私の民よ、私があなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げるとき、あなたがたは、私がエホバであることを知る。

ヨハネ 5:25 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。死人が神の子の声を聞き、そして聞く者が生きる時が来る。それは今である。

エペソ 2:1 ところであなたがたは、自分の違犯と罪の中に死んでいて、

2 かつてはそれらの中で、この世の時代に流され、空中の権威の支配者、すなわち不従順の子らの中に今も活動している霊の支配者にしがたって、歩いていました。

3 私たちもみな、かつては彼らの間で、自分の肉の欲の中で振る舞い、肉と思いの望むままを行っていたのであり、ほかの人たちと同じように、生まれながら激怒の子でした。

4 しかし、あわれみに富んでおられる神は、私たちを愛してくださった彼の大きな愛のゆえに、

5 私たちが違犯の中で死んでいた時、私たちをキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、

6 キリスト・イエスの中で、私たちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました。

7 それは神が、キリスト・イエスの中で、私たちに対する慈愛の中の彼の恵みの卓

越した豊富を、来たるべき時代において展覧するためでした。

8 なぜなら、あなたがたが救われたのは、恵みにより、信仰を通してであって、これは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物であるからです。

エゼ 37:4 彼は私に言われた、「これらの骨に預言して言いなさい。枯れた骨よ、エホバの言葉を聞け。

5 主エホバはこれらの骨にこう言われる、見よ、私はあなたがたの中に息を入れ、あなたがたは生きる。

9-10 その時、彼は私に言われた、「風に預言せよ。人の子よ、預言して、その風に言いなさい。主エホバはこう言われる、息よ、四方から来て、この殺された者たちの上に息吹き、彼らが生きるようにせよ」。そこで、彼が私に命じられたように預言すると、息が彼らの中に入った。そして彼らは生き、自分の足で立ち上がって、極めて大きな軍隊となった。

14 私が私の霊をあなたがたの中に入れると、あなたがたは生きる。私はあなたがたを、あなたがたの地に置く。こうしてあなたがたは、私、エホバがこれを語り、これを成し遂げたことを知るようになると、エホバは告げられる」。

1コリント 14:3-4 ところが預言する者は、建造と励ましと慰めを、人に語るのです。異言で語る者は自分自身を建造しますが、預言する者は召会を建造します。

31 なぜなら、あなたがたはみな一人ずつ預言することができるからであり、それはすべての人が学び、すべての人が励まされるためです。

詩 95:1 来たれ、わたしたちはエホバに向かって喜び歌い、わたしたちの救いの岩に向かって喜びの騒ぎ声を上げよう。

IV. 二本の命のない木は、イスラエルの分裂した国の二つの部分、すなわち南のユダの王国と北のイスラエルの王国を象徴します:

エゼキエル 37:16-17 人の子よ、あなたは一本の木を取り、その上に、「ユダと、彼の仲間であるイスラエルの子たちのために」と書きなさい。次にもう一本の木を取り、その上に、「エフライムの杖であるヨセフと、彼の仲間であるイスラエルの全家のために」と書きなさい。それらを互いにつないで一本の木とし、あなたの手の中で結び合わされるようにしなさい。

V. この章の啓示が見せているのは、からだ、召会、神の家が真の一を持つ唯一の道が、命の道であるということです:

ヨハネ 17:17 彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です。

エペソ 4:15-16 むしろ、愛の中で真実を固く保って、わたしたちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。